

# 小P連 だより 八王子市立小学校PTA連合会

# Shoupiren

第56号  
2016.10  
発行

## 特集 第十小学校の取り組み

## 子どもたちに多様な感性を

第十小学校 PTA 全体行事における「アインシュタインラボ」によるサイエンスショーのひとつ。マイナス 196℃の液体窒素が入ったタンクの中に筒状の棒を入れた瞬間に、気化した液体窒素が雲のように体育館の天井まで！このあと、その冷たい雲のシャワーを浴びたい一心の子どもたちが一斉に真ん中に集まって来てしまいました・・・あぶないあぶない（冷汗）

## 「とりあえずやってみよう!」というマイポリシーがすべての行動を突き動かす。

第十小学校では PTA 全体行事として、PTA 本部と各委員会・ボランティア保護者が協力して、様々なイベントを毎年開催しており、子どもたちに非日常的な体験をしてもらい、多様な感性を身につけて欲しいという想いを込めて企画しています。

2016 年度は「学校に泊まろう!」というイベントを自主企画し、9/17-9/18 に開催しました。

大規模災害時の避難所疑似体験として、アルファ化米の夕食やダンボールハウス作りを体験する内容でしたが、保護者 65 名・児童 123 名・教職員 23 名が参加して、子どもたちも保護者も楽しむことができた 2 日間となりました。

「とりあえずやってみよう!」という十小 PTA のマイポリシーがすべての行動を突き動かしています!



十小 PTA 会長  
櫻井 励造



▲「学校に泊まろう!」の様子

昨年年度に引き続き会長を務めさせていただきます。恩方第一小学校の川島と申します。会員の皆様には日頃よりご理解・ご協力をいただき、有難うございます。

小P連では各単Pの橋渡しは勿論ですが、その他多くの活動をしており、教育委員会や各種団体と様々な意見交換を行い、我々保護者の意見を述べさせていただいたり、問題や提案があればその解決のために市と協議を行ったりしております。例えば、放課後子ども教室のことであったり、防災倉庫の備品についてだったり、単Pだけでは判断し辛い事案も多くありました。

二年目の今年は、他の学校の様子や市側との話し合いの内容等の情報を今まで以上に発信し、より身近で役立つ小P連を目指して活動してまいります。



小P連会長  
川島 弘嗣

## 八王子市の青少年問題を検討する

出向報告 小P連本部 顧問 秋間 勝仁

### みんなどうしてかわからない 思いやりの心

八王子市立第九小学校PTA会長の秋間と申します。本年度は小P連の顧問を拝命しておりますが、昨年度は「八王子市青少年問題協議会」に保護者代表として出向いたしました。

この協議会には、市長をはじめとする行政関係者、保護司会や青少年対、小・中・高校長会、小・中P連、各警察関係者と様々な分野の代表が集まっています。会議では「平成二十七年重点目標」であった「みんなどうしてかわからない 思いやりの心」に対して、各団体での取り組み状況や、青少年を取り巻く問題の現状とその解決方法などを話し合いました。また年度の後半は二十八年度の重点目標を議論し、『みんなどうしてかわからない 思いやりの心』を継続することに決定しました。

さて、みなさん「八王子市青少年健全育成基本方針」を聞いたことがありますか? 「家庭・学校・地域の連携のもと健全な「はちおうじ」を育てよう」です。そしてこの基本方針や目標を達成していくための行動指針として、

1. ほめよう、我が子の日々の小さな積み重ね。
2. 一緒に考えようーほんとうに載せていいのかな? その言葉・その写真。
3. 親子で参加、見つけようー地域の繋がり・家族の絆。

一年間この協議会に参加させていただいたことにより、青少年に関連する様々な部署の方々が未来の「はちおうじ」のために、彼らを取り巻く環境の整備に尽力されている事や、忘れ去られている地域との関わり、そして何よりも重要な「家庭が主体となって子どもに触れ合っていくかなければならない」という事を改めて実感いたしました。とても良い経験させていただきました。ありがとうございました。

## 八王子市いじめ防止対策推進会議

出向報告 小P連本部 執行役員 石原 常年

### 保護者の立場で

### いじめ防止対策に取り組む

八王子市は平成二十六年に「八王子市いじめ防止基本方針」を策定しました。そこには教育委員会や各学校が取組むべき内容などが示されています。そして、その基本方針の着実な推進を図る為、私の出向先である「八王子市いじめ防止対策推進会議」がつけられました。学識経験者、警察、法律・医療・福祉・心理の専門家、地域・保護者・学校の関係者で構成され、八王子市教育委員会学校教育部長の招集にて会議が開催されます。

現在八王子市は、いじめ防止に関する条例の制定に向け準備を進めています。私はその検討会議にも出席させて頂いております。子育て世代・保護者代表として意見や要望を直接届け、八王子市と小学校PTAのパイプ役としてリアルタイムでの情報共有が出来るように務めて行きたいと思っております。



▲八王子市いじめ防止対策推進会議の様子

## 「PTAのこと教えてマトリクス」で他校を知る

第1ブロックでは各校単Pの運営方法を知り、自校の運営の参考にするため「PTAのこと教えてマトリクス」を作成しています。(近いうちに全ブロックの情報を集約したいです)

項目としては、運営委員会の回数・PTA会費・放課後子ども教室の実施日などの情報を集約しています。

具体的に各校の良い部分を取り入れたり、各校に相談したりできる「きっかけ」ができたことがよかったです。

## 編集後記

本年度の第1ブロックは各単Pの会長がすべて男性で、みなさん熱い思いを持って子供たちを笑顔にする活動を力強く行っています。小P連だより56号では、そんな第1ブロックの各単Pが各々に力を入れている活動を紹介しました。制作の過程で、同じブロックでも様々な取り組みがあることを知り、アイデアが満ち溢れていることに驚きました。続けることが難しい活動があったり、なにか物足りなさを感じたりする中で、仲間たちの取り組みはとて新鮮で参考になることがたくさんあります。そのような情報を知り、話を聞き、実践できることが小P連の良さだとあらためて思いました。また小P連では八王子市の様々な組織や団体との連携も深めています。今号ではその活動の中からいくつかを紹介しました。子供たちの未来をあらゆる角度から支え続けることができると、今回の制作活動を通して思いを新たにしました。

第1ブロック 宇津台小学校 PTA 会長 國方 則和



## 第一ブロック各校の 取り組みをご紹介します



### 第三小学校 「地域安全マップ作成教室」



PTA会長  
原 勇介

昨年10月31日にTOKYO FM/東京海上日動と共催で「地域安全マップ作成教室」を実施しました。地域安全マップを考案された立正大学・小宮信夫教授は、偶然にも本校卒業生というご縁もあり、当日参加した約30名の児童はテレビでもお馴染みの小宮教授の話を熱心に聴きました。その後、学校周辺の街に出て、自分たちの力で考えながら犯罪が起こりやすい場所を確認し、写真やメモをとりながら、5つの地域安全マップを完成させました。3学期には5年生が総合学習の一環で、地域安全マップを作成するとともに、3月には青少対第6地区委員会主催の講演会でも、再び小宮教授にお話しいただく機会を得ました。一連の取り組みを進める中で、風景から犯罪の起こりやすさを読み解く力・地域の力・子どもたちが自分で考えて行動する力が大切であることを再確認しました。



### 宇津木台小学校 「いざという時に備えて 防災訓練」



PTA会長  
國方 則和

もし日中に大きな災害が発生したら、私たち保護者は何ができるだろう？近年は自宅から遠く離れて働くお父さんお母さんが増えていて、いざという時に子供たちの元へすぐに駆けつけることが難しくなっているのが現状です。そこで頼りにしたいのが学校の近隣に在宅されている保護者や地域の方々です。宇津木台小学校PTAでは、東日本大震災の発生を機に「防災訓練」を実施しています。最初は保護者と先生だけで実施していた訓練も、今年は近隣の自治会と一緒に実施できるところまでできました。来年以降は、さらに近隣の小学校や中学校とも連携した活動に発展させたいと思っています。少しずつですが、助け合いの輪が広がっています。



### 大和田小学校 「おやじの会 学校宿泊避難訓練」



PTA会長  
吉川 将史

7月16日(土)、17日(日)おやじの会主催(PTA共催)の「避難訓練」を学校体育館にて行いました。八王子市防災課、地域消防団、学校教職員、保護者の大きなご協力のもと、児童80名(内宿泊60名)が真剣な眼差しで受講しました。防災課による「仮設トイレ」組み立て、段ボールハウスの作り方を聞き、実際に作りしました。消防車の前で防火服を着て記念撮影、アルファ化米を調理し、カレーを食べました。おやじの会の講習は、発電機を動かしながら「節電」を考え、大地震の建物被害の判定などの話は、大人も勉強になりました。楽しい体験学習ができました。



### 高倉小学校 「チーム高倉一大イベント！夕涼み花火大会」



PTA会長  
吉見 裕二

日時：7月2日(土)17時～20時 参加人数：348人  
高倉小学校ではPTA本部が中心となり、各クラス役員の方々やお手伝いの保護者、先生方の協力のもと、毎年、体育館や校庭などで夕涼み花火大会を行っています。児童はスタンプカードを持って工作やゲームのブースを回ります。今年は地域の方にもお手伝いをしていただき、12箇所のブースを設けることができました。夕方は校庭で、じゃんけん大会と花火大会を行いました。お父さん方と先生に点火作業を手伝っていただき、沢山の花火が夜空に打ち上げられる様子は迫力満点でした。大勢の児童と保護者の方にご参加いただき、今年も大成功をおさめることができました。



### 第一小学校 「After-school Study Group」



PTA会長  
富田 拓雄

国際交流委員会の活動として本年より After-school Study Group が始まりました。一週間に一度、親が日本語以外を母国語とする子供たちの学習支援を目的とした活動です。外国人の親は言語や母国で受けた教育の違いなどから子供の勉強を見るのが難しく、学習が遅れがちになるケースが多く見られます。そうした子供達を支援し、楽しい学校生活を送ってもらえるようにサポートする活動です。最近では参加者の友達で日本人の子供たちも参加してわいわいと楽しく勉強をしています。この活動以外にも国際交流委員会は学校で配られるプリントを英語及び中国語に翻訳してLINEで共有したり、座談会開催で言葉の障壁を減らす活動を行っています。



### 第四小学校 「災害時の対応を地域と学校が一丸となって考える」



PTA会長  
橋本 歳司

四小は28年度より「地域運営学校」となり、地域が積極的に学校運営に関わる様になりました。8月に行われた図上訓練では学校周辺の町会長や民生児童委員、学識経験者など7名の学校運営協議会委員が集まり、大規模な災害時に起こり得る様々な事態を想定し具体的な対応方法を話し合うことができました。大きな災害に見舞われた際には、避難所である学校と周辺地域との連携は不可欠です。地域運営学校として災害時の対応を周辺地域の方々と共に話し合えたことは非常に有意義な時間でした。



### 第六小学校 「六小子供まつり」



PTA会長  
小森 俊介

六小では、1年間を通して上級生と下級生の交流を深める「縦割り班活動」を行っています。6年生が1年生を、5年生が3年生を、4年生が2年生をそれぞれ担当します。活動の1つに「六小子供まつり」があります。それぞれの班で催し物(ゲームなど)を考えて、必要な物は自分達で作って、3学期の学校公開で開催しました。PTAも「猛獣狩りに行こう！」と題してブースを作りました。ラダーゲッターというニュースポーツが基になっています。忙しい中、保護者の方々に集ってもらい、各家庭から集めたラップの芯やアルミホイルの芯ではしご(的)を作り、新聞紙で鞆を作りました。まつりの当日は、児童や地域の方達と楽しい一時を過ごしました。



### 第八小学校 「親子で楽しめたPTA行事 宇宙教室」



PTA会長  
大内 朱史

八小PTAでは毎年親子で楽しめるPTA行事を行っています。昨年はJAXA(宇宙航空研究開発機構)のご協力で、「作って学ぼう宇宙のこと」と題して、体育館で工作や実験などに取り組みました。ビニールのカサ袋でロケットを作って飛ばし、ロケットの仕組みを学んだり、ロケット発射の映像と音で迫力を体感したり、真空になったらマシュマロはどうなる？といった実験に取り組みました。質問コーナーでは「宇宙人はいるの？」などの質問にも答えてもらいました。準備段階から「宇宙食試食したい」「惑星の大きさをクイズやりたい」と盛り上がったPTA本部役員が一番楽しんだかもしれません。

